



三好美代子 議員  
(公募)

【質問】在宅医療の状況について／レスパイト入院の対応医療機関は／介護制度の今後の見通しについて

【答弁】市長 平成29年9月現在、往診診療専門医療機関は、2診療所、医師は3人で、往診診療可能医療機関は1病院、9診療所、医師は10人です。レスパイト入院の対応医療機関は、現在市内にはありませんが、国や県は在宅療養を基盤とした地域包括ケア病棟の整備を進めていくこととしています。なお、市では介護者を支援する取り組みとして「家族介護講演会」や「オレンジカフェ」を開催しています。今後も介護をする方の負担軽減になるよう、介護保険制度の適切な運営に努めます。

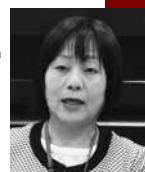


中村真須美 議員  
(久喜おやこ げきじょう)

【質問】「国連子ども権利条約31条」について市の取り組みは

【答弁】市長 近年、子どもと家庭を取り巻く環境が大きく変化する一方、地域における相互扶助機能の低下が指摘され、学校でのいじめなど、子どもの人権に関するさまざまな問題が顕在化しています。市では、学校における道徳の授業での人権作文「えがお」等の活用、「文化芸術による子供の育成事業」の実施、

「放課後子ども教室」による交流活動の機会の提供等、子どもの人権尊重に向けた取り組みを実施しています。



坂田幸江 議員  
(公募)

【質問】防災対策に関する市の取り組みについて

【答弁】市長 市に被害を及ぼすおそれがある災害は、地震・風水害などが考えられます。避難勧告や避難指示の基準は、久喜市地域防災計画において定めており、発令の際には、防災行政無線等を用いて、市民の皆さんへ周知いたします。拠点避難所等に設置してある防災備蓄倉庫には、食料、生活必需品等を備蓄しており、消費期限のあるものは、購入年度別に台帳管理をしています。災害発生直後は、自助だけでなく、地域住民同士による共助が重要なことから、自主防災組織の設立促進と育成に努めていくことが必要であると考えています。



小森谷嘉子 議員  
(公募)

【質問】鷲宮総合支所の女性用トイレの改修について

【答弁】市長 鷲宮総合支所の女性用トイレは全部で19基設置しており、そのうち洋式トイレは7基、36.8%となります。洋式トイレは、イスに座るような感

覚で楽な姿勢で使用でき、高齢者や介護が必要な方でも利用しやすく、各家庭や各種施設などに、広く設置されている状況です。鷲宮総合支所のトイレの洋式化については、施設の改修等に合わせ進めていきたいと考えています。



日比野登美子 議員  
(公募)

【質問】コミュニティ活動の推進について市の考え・役割は

【答弁】市長 コミュニティ協議会について、考え方の相違、会員の高齢化など地域特有のさまざまな課題があると認識しています。新たな取り組みとして、今年度からコミュニティ・スクールに市内全小中学校を指定したことに伴い、学校と連携する協議会が出てきています。市では、コミュニティ協議会の会員確保への支援や地域活動への参加推進に向け、引き続き市ホームページ等での活動の周知、市民活動情報コーナーの活用など、市民活動に関する情報提供の充実を図っていきます。



斉藤寿子 議員  
(久喜市久喜婦人会 連合会)

【質問】婦人会活動、会員構成状況について／婦人会会員募集について

【答弁】教育長 婦人会活動は、地域の活性化やくらしの改善に努められている

ものと認識しています。会員数の減少や高齢化が課題であることから、引き続き、補助金の交付や広報紙による周知など活動の維持向上のための支援を行います。

【答弁】市長 市ホームページに市民活動団体として掲載された団体の会員募集について、広報紙に掲載できますのでご活用ください。なお、団体の会員募集については、区長へお願いすることとは区長の職務が住民と市との連絡調整などであることから、難しいものと考えています。



高木美香 議員  
(公募)

【質問】特別支援学級について／放課後等デイサービスの連携体制は

【答弁】教育長 市内34小中学校のうち31校に特別支援学級を設置し、昨年度から、「特別支援教育指導員」が担当者の指導を行うとともに、特別支援教育コーディネーターを中心に学校全体で特別支援教育に取り組む体制づくりを進めています。また、個別の教育支援計画を活用し、個々のニーズに合った支援ができるよう、指導の徹底を図っていきます。

【答弁】市長 放課後等デイサービスの利用には、相談支援専門員がプランを作成する必要があることから、引き続き、保護者、学校および事業所等の関係機関において一層の連携を図っていきます。